

藤原朝臣広嗣、桜花を娘子に贈る歌一首

一四五六番

この花はなの 一ひとよの内うちに 百種ももくさの 言ことそ隠こもれる お  
ほろかにすな

娘子をとめの和こたふる歌うた一首

一四七七番

この花はなの 一ひとよの内うちは 百種ももくさの 言こと持ちかねて  
折をらえけらずや